

# ひなんじょうんえい 避難所運営について

ひなんじょう oun'e'i ひなんじょうんえいいんかい ちゅうしん ひなんしゃ  
避難所の運営は、避難所運営委員会を中心とした避難者によ  
る自主運営で行うことを原則としています。

「自分たちのまちは自分たちで守る」という「共助」の視点に  
立って、普段から地域の自主防災組織（住民自身が自発的につくる  
防災のための組織）や避難所運営委員会（自主防災組織や区・自治会  
などで構成）へ参加し、防災についてよく話し合ひましょう。

## ■ ひなんじょうんえい ひつよう ぽいんと 避難所運営に必要なポイント

さいがい おお とき たよう ひとびと いっしょ す ぼしよ ひなんじょう  
災害が起こった時に、多様な人々が一緒に過ごす場所が避難所  
です。健康を維持し、安全・安心な避難所運営を行うためにも、  
地域に暮らす多様な人たちの視点に立った運営をしていくこと  
が求められます。

- 女性と男性、両方のリーダーを配置します。（女性も含めた  
視点を反映することは、地域の防災力向上に繋がります。）
- 運営会議などの意思決定の場には、多様な立場、幅広い  
世代、両性の代表者が参加し、様々なニーズや意見を取り  
入れましょう。
- 性別で不利な扱いを受けたり、役割を分担されることがない  
ように「みんなで共同作業」を心がけましょう。
- すべての人の権利を尊重します。どのような状況にあつて  
も、一人ひとりの人間の尊厳、安全を守ることが重要です。

事例

東日本大震災で、支援物資の担当に女性が加わって、円滑に配布された例がありました。生理用ナプキンなどは、女性が配布した方が受け取りやすいでしょう。あるいは、段ボールなどに入れて、自由にもっていけるようにすると良いでしょう。

多様性に配慮した避難所チェックシート

<ul style="list-style-type: none"> <li>□ トイレ</li> <li>➤ 安全で行きやすい場所</li> <li>➤ 男性用と女性用が離れた場所</li> <li>➤ 女性用を多めに設置</li> <li>➤ バリアフリートイレ・</li> <li>男女共用トイレ・洋式</li> <li>トイレの設置</li> <li>➤ 防犯ブザーの設置</li> <li>➤ 女性用品、尿取り</li> <li>パッドの設置</li> <li>➤ 錠の設置</li> <li>➤ 個室と、行くまでの</li> <li>経路に夜間照明の設置</li> <li>➤ 屋外トイレは暗がりにならない場所に設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 間仕切りがある（高さ・大きさも確認）</li> <li>□ 男女の更衣室・休憩室が、離れた場所にある</li> <li>□ 授乳搾乳エリア・</li> <li>オムツ替えエリアがある</li> <li>□ 乳幼児のいる家庭エリア・</li> <li>介護が必要な人のエリア・</li> <li>女性のみエリア・</li> <li>キッズエリアや保育</li> <li>エリア・</li> <li>感染症患者エリア・</li> <li>男女問わず利用できるエリアがある</li> <li>□ 女性専用の物干し場がある</li> </ul>
---	---

<input type="checkbox"/> 段差が解消されている	<input type="checkbox"/> 食料物資班に女性がいる
<input type="checkbox"/> 各部屋に部屋札 (「ピクトグラム」(誰もが目で見ただけでわかる案内図)・「やさしい日本語」(普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語))を 設置している	<input type="checkbox"/> 防犯対策・ 避難所の危険箇所の把握と 立入制限・個室の定期 確認・巡回警備を行って いる(男女一緒に行う)
<input type="checkbox"/> 医療支援体制を整えている	<input type="checkbox"/> 相談体制の整備・ 避難者の要望を受けられる 仕組みの整備をしている (意見箱の設置など)

※避難所に避難するときは、各自が必要なものを持ち込みましょう(自助)

## 福祉避難所

市は、福祉避難所として高齢者施設9カ所、障がい者施設5カ所と協定を締結しています。

福祉避難所とは、二次的な避難所で、直接避難することはできません。市が協定を結んでいる施設が、災害時、受け入れ可能な状況にある場合に、開設されます。避難所での生活が困難とみなされ、より専門的なサービスが必要な要配慮者は避難所から福祉避難所に行くこととなります。

※災害発生直後は福祉避難所の体制が整わない可能性があることから、避難所において要配慮者に対応したエリアの確保に努めましょう。

## 【アセスメントシート(環境調査評価表)】

「アセスメントシート」とは、避難所の環境を調査するためのシートです。  
 避難所の居住者の概要や健康状況を把握し、居住者のための食事、相談、  
 情報伝達を円滑にし、緊急対応もできるように工夫しましょう。

<例> アセスメントシート(当会作成)

項目	人数	注意事項	備考
避難者合計			
性別 男性 女性 LGBTQ+ (SOGI)			
年齢別 10代未満 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代 90代 100歳以上			
障がいのある人			
要介護の人			
妊産婦			
アレルギーのある人			
外国人			
配慮が必要な人			

## ■ 炊き出し・配食 —女性の仕事と決めないで！—

- 炊き出し・配食を女性の仕事と決めないで、みんなで一緒に取り組みます。
- エプロンがなくても、タオルなどで頭だけは覆います。
- アレンジは失敗の元です。
- 自分の作り方を押し通そうとしないで、みんなで作ります。
- 味は薄味にします。嫌いな食べ物は無理に押し付けません。
- 栄養面も考慮し、おにぎりだけの配食が続かないように、配慮します。
- 乳児用のミルク、哺乳瓶などの確保と離乳食や高齢者食の用意をします。
- 障がいのある人や外国人にも配食のルールなどが伝わるように、やさしい日本語で掲示するなど配慮します。
- アレルギーや持病のある人、宗教上の理由で食事制限のある人に配慮します。
- 子どもは自分のアレルギーを理解していない場合があるので、アレルギーの確認を保護者とするようにします。
- アレルギーフリー食品は、高齢者などにも良いので、必要な人に配食できるようにします。
- 障がいのある人や、妊産婦・アレルギーのある人に配食するときは、直接お渡しするなど方法を工夫します。

## ■ トイレ

トイレの課題は生命に関わる問題です。

水洗トイレが機能しなくなると、排泄物の処理が滞るために、排泄物における細菌により、感染症や害虫の発生が引き起こされます。

トイレが不衛生であるために不快な思いをする被災者が増え、トイレの使用がためられることによって排泄を我慢することが、水分や食品摂取を控えることにつながり、被災者の栄養状態悪化や脱水症状、エコノミークラス症候群等の健康障害を引き起こすおそれが生じます。

トイレの確保やトイレの清掃・衛生環境維持のための運営が必要です。また、あらゆる人が使いやすいように配慮します。

性暴力未然防止の観点から、トイレは暗がりにならないような場所に、男性用と女性用を離して設置し、トイレの中と行くまでの道に照明をつけます。女性用トイレは男性用トイレより多くし、中に防犯ブザーを配置します。トイレの前に足が見える程度の目隠しを設置します。

LGBTQ+に配慮して男女共用トイレを利用できるようにします。高齢者や障がいのある人などには、バリアフリートイレを優先利用できるようにします。

トイレに行くときは、他の人に声をかけてから、2人以上で一緒に行きます。

## ◇多様なトイレ

手すり・点字表示・おむつ替え台・オストメイト対応トイレが  
必要です。電動の開閉ドアは手動でも使えなければ停電時に困り  
ます。

※子どもに和式トイレの使い方を教えておきましょう。

### ● 据置式洋式トイレ

和式便器の上にかぶせることで、洋式便器として使用できる  
ようにする便座です。足腰が不自由な人などで和式トイレを  
利用しづらい人に便利です。

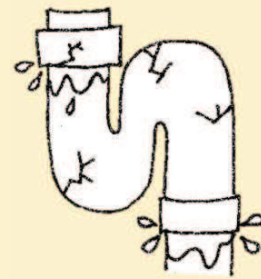
## ◇排水管のチェック

排水管が破損していないか確認します。

排水管が破損している場合や下水道が

使えなくなった場合は、トイレに水や紙を流してはいけません。

便は新聞紙で包んでからビニール袋に入れるなど使用ルール  
を周知徹底します。



## ◇災害時のトイレの例

### ● 携帯トイレ

携帯トイレとは、既存の洋式便器（自宅のトイレなど）につけ  
て使用する便袋タイプです。



きゅうすいしーと きょうこざい すいぶん あんていか  
吸水シートや凝固剤で水分を安定化させます。

しょう べんぶくろ しょぶん  
使用するたびに便袋を処分します。

● かんいと いれ きそんと いれ  
簡易トイレ（既存トイレ）

きそん と いれ はいすい ばあい べんぶくろ びにーるぶくろ  
既存のトイレが排水できない場合、便袋（ビニール袋）をつ  
けて使用します。

べんぎ あ びにーるぶくろ おお  
便座を上げビニール袋ですっぽり覆います。

べんぎ うえ まいめ びにーるぶくろ べんぶくろ  
便座の上から2枚目のビニール袋（便袋）をかけます。

きゅうすいしーと きょうこざい すいぶん あんていか しんぶんし  
吸水シートや凝固剤で水分を安定化させます（新聞紙、  
ペット用吸水シートをいれても良いでしょう）。

● かんいと いれ くみたてしき  
簡易トイレ（組立式）

だんぼー ーる くみた べんぎ べんぶくろ びにーるぶくろ  
段ボールなどを組立てた便器に便袋（ビニール袋）をつけて  
使用します。持ち運びが簡単です。

● かせつ と いれ くみたてしき  
仮設トイレ（組立式）

べんそう ちよりゅう ほうしき まんほーる ちよっけつ なが ほうしき  
便槽に貯留する方式と、マンホールへ直結して流す方式が  
あります。

ひなんじょ こうきょうしせつ びちく く た じかん  
避難所や公共施設に備蓄されています。組み立てに時間がか  
かるので、ぼうさいくんれんじ く た さぎょう れんしゅう ひつよう  
防災訓練時などに組み立て作業の練習が必要です。





## ■配慮が必要な人へ —自分から手助けを求められない人もいる!—

### ◇妊産婦

- 妊産婦は、それぞれ安静時期・安静期間が違います。
- 床、板の間の場合、冷えを防ぐ手立てを取る必要があります。
- 妊娠後期(9カ月頃から)はお産に備えて必要な物を揃えます。
- 助産師・保健師、産婦人科医の定期的な往診を手配します。

### ◇乳幼児を保護する人

- 保護者がトイレや用事のある時に、乳幼児を預けられるような支援があると良いでしょう。
- 保育エリア、授乳搾乳エリアを設けます。

### ◇高齢者・障がいのある人を介護する人

- 介護者がトイレや用事のある時、さらに安息も含め、必要に応じて高齢者・障がいのある人などを預けられるような支援があると良いでしょう。

### ◇性的マイノリティ(少数者)

- 男女共用トイレを利用できるようにします。
- 外見の性別にかかわらず、生理用品が必要な人がいます。配慮する人は認識しておきます。不用意な言葉は避けます。
- 相談窓口を設置します。

## ◇外国人

- 外国語での表示や、やさしい日本語での表示をします。
- 翻訳機を活用します。
- 避難所や避難場所へ連れていってくれる近隣の人を普段からさがしておきます。
- 名前、住所、血液型、連絡先などを書いた「緊急時お願いカード」(P14参照)をいつも持つようにします。
- 日本語教育の関係者は、災害への備え、災害発生直後にとるべき行動や避難所生活の知識を教えるように心がけます。

## ■暴力は許さない！

- 避難所の生活では、体に触れられる、襲われるなど、性暴力の危険性が高まります。
- 暴力(性暴力)やDV(夫婦、恋人など親しい間柄での暴力)・セクハラ・ストーカーなどが起きないように「見守り」が大切です。また、単独での行動を避け、防犯ブザーやホイッスルの携帯、夜間照明を設置します。
- 女性だけでなく、高齢者や子ども、男性も被害にあうことがあります。
- 性暴力などの被害にあった人に対応する避難所運営者や警察官など関係者が、心ない言葉で対応することのないよう徹底します。
- 性的被害をすぐに訴えられる相談窓口を設置します。